

平成 24 年 1 月 2 日

網走社会人サッカー連盟
各チーム代表理事様

網走社会人サッカー連盟
リーグ運営委員長 鈴木 紘介

平成 24 年度リーグ編成について

謹啓 師走の候、平素は当連盟リーグ運営に対しご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

掲題につきまして、平成 23 年度代表理事総会において、既に提起させて頂きました1部リーグの5チーム制の導入案に際し、当連盟理事会及び関係委員会にて今年度中に議論を重ね、おおむね素案として平成 23 年度リーグ最終順位を基に、別紙の通り平成 24 年度リーグ編成案を作成致しました。

つきましては、5チーム制導入に当たり、1部リーグ以外のリーグ編成にも波及する事から各チーム様にとって重要な案件である事を踏まえ、5チーム制導入の意義を含めて下記及び、別添の通り事前にご連絡をさせた頂き、ご意見等をお寄せ頂いた上、平成 24 年度代表理事総会までに再度正式案として提起させて頂く所存ですので、宜しく願い申し上げます。

謹白

記

1, 1部リーグ現状及び改定後の意義

現行：地区リーグ1節2試合と道東リーグを同日開催し、残り1試合を分離開催

課題① 分離開催により、審判等の為だけの参集チームが発生している。

課題② 分離開催により、会場費が負担増となっている。

課題③ 道東リーグ手伝いの要員が、役員が大半となっている。

改定：地区リーグ1節2試合と道東リーグを同日開催する。

意義① 全節同日開催により、他リーグ同様に審判等も全節参集チームで対応出来る。

意義② 全節同日開催により、分離開催分の会場費が負担減となる。

意義③ 道東リーグ手伝いの要員に、1部リーグ所属チームも割り当てられる。

意義④ 会場費も道東リーグと按分し、負担をより減らす事ができる。

2, 1部リーグ5チーム制の留意点

例年通り、23年度最終成績から入替に伴う23年度最終順位を決定した上で、1部を5チーム、2部及び3部を8チーム、4部を最終部としてチーム数を割当る為、23年度の1部入替戦勝利チーム、3部、4部の準優勝チームの昇格が据え置きとなり、前年と同様のリーグ残留となる。

3, 意見提起期間

平成 23 年 01 月 20 日

※ 資料『リーグ編成案』別添

以上